

令和3年度 社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会 事業報告

＝ 事業総括 ＝

少子高齢化と人口減少が進む中、家族・親族の絆の弱まり、地域の支え合いの基盤の弱まりにより、社会的に孤立し、課題が複雑化・重篤化して発見されるケースが増えています。

そこで令和3年度、社会環境の変化や相互に協力し合いながら取り組む「互助・共助」を推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かな生活を送ることができる地域共生社会の実現に向けて、「湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を行政と共に策定いたしました。本計画は「一人ひとりができる役割 もれない支援 行ったり来たりの思いやりのまち～“ぬくもり”と“安心”と“希望”にみちたまちづくりをめざして～」の基本理念のもと、誰もが役割を持ち、地域福祉活動への参加を通じて、その人らしい尊厳ある人生を送ることができるまちの実現を目指す計画です。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、緊急事態宣言が発出されるなど地域づくりにおいても、集まり顔を合わせることを基本としてきた地域福祉活動を進めることができず、地域のつながり・支え合いの低下が懸念される状況が続いています。

本会の事業計画の取り組みや活動を中止若しくは延期・縮小せざるを得ない状況でしたが、感染防止に配慮しながら地域デビュー応援講座や各まちづくり協議会の協力を得て生活支援サポーター養成講座、災害ボランティア養成講座および災害ボランティアセンター設置訓練は多くの市民の方々の参加していただき実施することができました。

その一方で、住民同士のつながりを絶やさないための支えあい活動を展開されている自治会や地域まちづくり協議会、市民活動グループもたくさんありました。コロナ禍だからこそ人と人とのつながりの大切さにした活動に対して社会福祉協議会費を財源にした「地域活動助成金」、「絆づくり交付金」、「子どもの未来づくり助成金」をそれらの活動を支援し、助成いたしました。

ボランティア活動では、コロナ禍においてもボランティアによる給食サービス事業や生活支援サポーター事業を感染予防に徹底した中で高齢者への見守り活動が継続して実施できました。また、各ボランティアグループの活動も社会福祉センターをはじめそれぞれの地域や居場所で継続できたこと再開できたことは、ボランティアの皆様に対して感謝の言葉しかございません。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し日常生活の維持が困難となった世帯が増える中、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付が令和元年、2年度に引き続き急増したため、担当課だけでの対応が困難であるため、本部全職員輪番制での貸付相談、生活相談を受けました。

訪問介護事業、デイサービス事業では、コロナ禍のなか、感染拡大防止を充分行いながら、利用者一人ひとりの個性を尊重し、その方の持つべき能力に応じ、自立した日常生活を送ることができるよう、介護ならびに生活全般にわたる援助を適切に行いました。また、コロナ禍のサービス提供については、ケアマネージャーとの情報共有を大切に、チームワークを持

って、サービスを提供しました。提供に当たってはコロナ禍での感染防止対策を重視するため、国の助成金を活用しながらマスク、エプロン、消毒液等予防資材を購入し、利用者、職員の健康管理に活用しました。

最後にコロナ禍において、改めて地域のつながりを基盤とした「支えあいの地域づくり」がいかに重要であるかを認識したが、これまで推進してきた「支えあい活動」の取り組みが十分に発揮できたか課題も多く見えた年でもありました。「今、できること」と、次年度へ向けて「何ができるか」を考えていく機会になりました。

1. 法人運営事業

(1) 本部事業

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案 件
3年5月28日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 議案第1号 令和2年度事業報告並びに会計決算書について 議案第2号 令和3年度定時評議員会の招集及付議案件について 議案第3号 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集定時評議員会の招集及び付議案件について 議案第4号 理事・監事候補者（案）の推薦について 議案第5号 評議員候補者（案）の推薦について 議案第6号 議員選任・解任委員候補者（案）の推薦について
3年6月15日	報告事項 会長・常務理事の職務執行状況報告等 議案第1号 理事会招集手続省略に係る同意について 議案第2号 会長、副会長及び常務理事の選任について 議案第3号 顧問の委嘱について 議案第4号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第5号 第三者委員の選任について
3年9月3日	緊急事態宣言中のため理事会書面での意見聴取 ①会長の職務執行状況報告について ②常務理事の職務執行状況報告について ③（特例）緊急小口資金、総合支援資金、食糧支援の状況について ④フードドライブ事業について ⑤地域福祉活動計画について検討会議記録・理事からの意見 ⑥湖南省共同募金委員会資料（共同募金運動の展開について） ⑦ネット環境アンケート調査について

3年12月18日	報告事項 議長事項 議長事項	会長・常務理事の職務執行状況報告等 令和3年度福祉基金取崩し（案）について 令和3年度第一次補正予算（案）について
4年3月10日	報告事項 議長事項 議長事項 議長事項 議長事項 議長事項 議長事項	会長・常務理事の職務執行状況報告 経理規程の一部改正（案）の承認について 職員就業規程の一部改正（案）の承認について 職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）の承認について 令和3年度第二次補正予算（案）の承認について 令和4年度事業計画及び予算（案）の承認について 令和4年度基金積立金の積立及び取り崩しについて 令和3年度第2回評議員会の招集及び付議案件について

○評議員会の開催

開催日	案	件
3年6月15日	議長事項 議長事項	令和2年度事業報告並びに会計決算書について 理事及び監事の選任について
4年3月24日	議長事項 議長事項	令和3年度会計補正予算（案）について 令和4年度事業計画及び予算（案）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
3年5月21日	令和2年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

開催日	案	件
3年6月8日	評議員17名の選任について	

○令和3年度社会福祉法人指導監査報告について

開催日	おもな内容
4年2月3日	法人運営ならびに会計について ・市社会福祉課担当職員2名による指導監査

○役職員研修会

開催日	研修内容
4年2月22日	「同和問題（部落差別）を考える」 講師 土田 啓二 氏 出席役職員数 25名（うちオンラインでの参加者 7名）

開催日	研 修 内 容
4年2月8日	「職場におけるハラスメントの現状」 「職場におけるハラスメントとは」 「ハラスメントのない職場のために」 講師 糺谷 博和 氏（糺谷社会保険労務士事務所） 出席職員数 28 名（うちオンラインでの参加者 9 名）

研修名	交通安全研修会、人権研修会
開催日	①11月8日(月)午後2時～午後3時 ②11月9日(火)午後2時～午後3時 ③11月10日(水)午後6時～午後7時 ④11月11日(木)午前2時～午後3時 ⑤11月12日(金)午後2時～午後3時 ⑥11月26日(金)午前10時30分～午前11時30分
内容	交通安全「生活道路での交通事故を防ぐために」 人権研修「同和問題の歴史について」 出席職員 43 名

○第三者委員の設置と委員会

委員名	澤九仁男、植村恵子、古岡裕子
開催日	案 件
3年7月12日	・福祉サービス苦情体制について ・令和2年度福祉サービス苦情状況報告

○社協会費の納入依頼と徴収

7月 世帯社協会費依頼と徴収 (5,491,260 円) ※前年 5,614,692 円
8月 法人・事業所社協会費依頼と徴収 (762,670 円) ※前年 832,000 円
(計 6,253,930 円) (計 6,446,692 円)

・高額社協会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載
対象 7 社 (前年 8 社) 掲載 5 社 (前年 6 社)

2. 地域福祉事業

(1) 地域福祉活動事業

《地域福祉活動推進事業》

- 第三次地域福祉活動計画の推進と進捗管理
- 第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定（市と一体的に策定）
 - ・地域福祉計画、地域福祉活動計画委員 17名 ・策定委員会開催 6回
 - ・市民懇談会の開催 2回 ・パブリックコメントの実施
 - ・アンケート調査（民生委員児童委員、各種団体、福祉事業所、相談支援機関）
 - ・社協理事との計画策定検討会議 2回 ・社協内各課ヒヤリング 3回
- 地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

ふれあいの館	毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいサロン」を開催（手芸・囲碁などを通して交流）
社会福祉センター	1階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動等への協力や地域での活動支援を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーター（ボランティア20名）による地域での見守り活動を実施し、主に一人暮らし高齢者（利用者11名）を対象に見守り活動を行った。

《福祉出前講座》

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数 4回
依頼団体 自治会、市防災士会、市民サークル
※コロナ禍で地域の活動は自粛傾向であったため、例年より依頼が減少した。
依頼内容内訳
①SUG(災害ボランティアセンター運営ゲーム) 3回
②手作りカルタで頭の体操 1回

(2) ボランティアセンター活動事業

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

情報提供

- ・社協広報「ふくしの輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座の参加者募集を掲載

《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

・ボランティア依頼

(一般依頼：146回)

(定期的依頼：年間) 市内福祉施設、高齢者サロン、国際協会など6施設(延40回)

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

○生活支援サポーター養成講座(全12回) 参加者延142名

○はじめての人形劇講座(全3回) 参加者延59名

○Zoom体験会(全3回) 参加者延34名

○災害ボランティア養成講座(全3回) 参加者延131名

○きつずぼらんていあ講座(全8回) 参加者延69名

○レイカディア大学ボランティア体験説明会 参加者2名

○障がい児支援ボランティア養成講座(全2回) 参加者16名

○市内小中高校の体験学習

三雲小学校	3年生 80名	手話・視覚障がい者のお話
三雲東小学校	3年生 45名	視覚障がい者のお話
石部小学校	1年生 60名	竹とんぼ《竹とんぼ・資料の提供》
石部南小学校	1年生 41名	竹とんぼ《竹とんぼ・資料の提供》
菩提寺小学校	クラブ活動 17名/昔遊び体験 65名	竹とんぼ
菩提寺北小学校	3年生 55名	アイマスク・視覚障がい者のお話
甲西中学校	1年生	文化体験講座(点字・手話・囲碁・折り紙・手芸)
甲西北中学校	クラブ活動 8名	手紙の書き方

○中高生ボランティア体験(全3回) 参加者延30名

《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

○ボランティアまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
→ボランティア交流のための「ボランティアの集い」も中止

《ボランティア活動基盤整備》

○ボランティア保険の加入

・ボランティア活動保険加入646名(前年度734名)

・地域活動者のボランティア活動保険加入304名

○ボランティアグループへの活動助成

・41団体に助成(前年度58団体)

《その他》

○備品貸し出し…車椅子、かるた、カロムなど

○高齢者見守り活動事業

生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施…年間151回(前年154回)

(9月第1週、第2週は緊急事態宣言下につき訪問中止)

○ゴーヤカーテンプロジェクト

ボランティアと市 19 箇所（保育 1 箇所、幼稚園 1 箇所、こども園 1 箇所、小学校 2 箇所、市外児童施設 1 箇所、高齢者施設 9 箇所、公共施設 4 箇所）にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達し、見守りも兼ねて行った

年間 20 回開催 延べ 908 個配食 < 昨年計 692 個 > 9 月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、その間にも集金担当の社協職員による利用者全員の安否確認を行った。
約 46 個／回 配食

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対して担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼した。

○つながる演奏会の開催

高齢者福祉施設とオンラインでつなぎ、ボランティアグループによる演奏会を行った。参加施設数：6 施設

○災害ボランティアセンター設置・運営のための活動

- ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 3 月 12 日 参加者 50 名
- ・災害ボランティアセンター運営隊の育成（登録者 40 名）
- ・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの検討

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

- ・古着を 1 着 100 円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いただいた。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になった事業

- ・ボランティアまつり

(3) 広報活動事業

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・令和 3 年 5 月発行（増刊 5 月号 新聞折込）
- ・令和 3 年 6 月発行（通刊 44 号 新聞折込）
- ・令和 3 年 8 月発行（増刊 8 月号 新聞折込）
- ・令和 3 年 10 月発行（通刊 45 号 新聞折込）
- ・令和 3 年 12 月発行（増刊 12 月号 新聞折込）
- ・令和 4 年 2 月発行（通刊 46 号 新聞折込）
- ・ホームページの更新（随時）

○広報紙の配布先

市内

市役所、図書館、まちづくりセンター、公共施設、コンビニエンスストア、金融機関、大型小売店舗、ドラッグストア、病院など

県内社協へ広報を配布した。

(4) 助成事業

《地区活動助成事業》

地域福祉活動奨励金の交付

各区の前年度（令和2年度：5,614,692円）の社協会費額の50%を地域福祉活動のために助成した。

助成額合計 2,807,700円 <前年度 2,757,200円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。（10団体）

《絆づくり交付金》

まちづくり協議会に対し、地域の福祉課題を自主的に解決しようとするための事業に助成した。（7まち協）

(5) 生活困窮者支援事業

○子どもの未来について考えるフォーラム

子どもたちが家庭の経済力に影響されることなく教育を受け、社会の中で自立していけるように、私たちに何ができるのか、何をしていくべきなのかを考えるフォーラムを計画したが、コロナ感染拡大が懸念されることから、防止対策として中止した。

【予定していた内容】

実施場所 甲西文化ホール

開催日 令和4年2月19日（土）

内 容 講演「子どもは 社会の宝 共生社会の実現と子どもの支援」

滋賀県教育委員会スクールソーシャルワーク スーパーバイザー

上村 文子 氏

事例報告

・「SNS でつなぐ主任児童委員活動」 —親子支援—

湖南市民生委員児童委員協議会 主任児童委員

大黒 直子 氏

共 催 湖南市（福祉政策課）

○湖南市社会福祉協議会子どもの未来づくり助成金

子どもの居場所づくり事業（子ども食堂、子どもの学習支援事業、その他子どもの支援に関する事業など）を行う団体に対し、必要な資金を助成し、子どもの未来づくり活動を支援する。

・事業準備経費助成金…10万円

・事業運営経費助成金…5万円

◎令和3年度実績 5団体 320,000円（準備経費80,000円、運営経費240,000円）

3. 生活福祉事業

(1) 生活福祉貸付事業

《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方（世帯）からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食糧品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

生活資金でお悩みの方に、特例貸付を行った。経済の回復が見込めない中で、令和4年8月末まで、申込締め切りの延長が行われ、貸付希望が続いている。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付（市）

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		14（昨年3）

○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金		55（昨年53）	1（昨年3）
〃【特例貸付】		456（外161）	332（外110）

※外…外国籍申請者

【特例貸付】…コロナで失業や収入が減った人が貸付対象

◎申請受付は令和2年3月25日～令和4年8月31日まで

◎延長貸付は令和3年6月30日、再貸付は令和3年12月31日にて終了

○失業による生活貸付（県）

※外…外国籍申請者

種 類	件 数	相 談	貸 付
総合支援資金		10（昨年12）	0（昨年0）
〃【特例貸付】【初回】		441（外164）	335（外121）
〃【特例貸付】【延長】		96（外19）	84（外24）
【特例貸付】【再貸付】		465（外191）	404（外166）
【特例貸付】合計		1,002（外374）	823（外311）

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類	件 数	相 談	貸 付
福祉資金		29（昨年46）	1（昨年3）
教育支援		37（昨年31）	4（昨年3）
不動産担保型生活資金		1（昨年0）	0（昨年0）

(2) 地域福祉権利擁護事業

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：66件 <昨年 65件>

内訳：認知症高齢者等 10件 知的障がい者等 28件
精神障がい者等 18件 その他 10件

・年度内新規契約：10件（認知1、知的0、精神1、その他8）

解約：9件（認知3、知的3、精神1、その他2）

問い合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	0	0	4	5	9
問い合わせ初回相談	1	1	9	16	27
相談援助	940	1,198	1,122	533	3,793
計	941	1,199	1,135	554	3,829
<昨年度計>	(701)	(1,411)	(1,418)	(234)	(3,764)

○市民向け権利擁護セミナー

令和4年3月5日（土）開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止となった。しかし、令和3年12月4日（土）「老後にまつわる制度とあれこれ」と題し、ぱんじー所長桐高とよみ氏と自分図鑑合同会社代表吉田健太郎氏に講師を依頼し、講座を開催した。参加者は34人

4. 受託事業

(1) 障がい児ホリデースクール事業

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の2日間（8月6日、7日）

「さわらび福社会作成うちわ・遊び場が分かる地図・夏祭りの動画配信・ラッピングバスの写真募集のお知らせ送付」 社会福祉センター

参加児童生徒 延べ 49名
スタッフ 延べ 10名
ボランティア 延べ 6名

② 冬季休暇中の2日間（12月24日、25日）

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒 延べ 13名
スタッフ 延べ 14名
ボランティア 延べ 11名

③春季休暇中の1日間（3月28日）

「さわらび作業所手作りクッキー・さわらび福祉会とスタッフ作成マ
スクケース・さわらび福祉会作成ハーバリウムボールペン送付」

社会福祉センター

参加児童生徒	延べ	52名
スタッフ	延べ	3名
ボランティア	延べ	10名

(2) 高齢者生きがいサロン事業

《みくもいきいきサロン》

65歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくり
を目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター（三雲ふれあいセンター）

開設日 毎月第1、第3金曜日

登録者	19名
年間開催	22回 延べ263名参加<昨年延べ239名>
平均	約12名/回 参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月2回は中止とした。

(3) 生活困窮者自立支援事業 家計改善支援事業

市福祉政策課(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象
に家計管理を中心とした家計改善支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に
応じて連携をとった。

項目	世帯数/件数
利用世帯数	4世帯/年 昨年(7)
相談件数	1件/年 〃(0)
支援件数	32件/年 〃(35)

※相談件数…契約前の相談数 支援件数…契約後の支援件数

(4) 生活支援体制整備事業（第1層地域支えあい推進員の設置）

今年度より、市内7まち協（まちづくりセンターごと）全てに第2層地域支えあ
い推進員が専任で8名設置された。主な支援の内容としては、第2層推進員及びま
ち協役員を対象とした研修の開催、外部のオンライン研修を第2層推進員と共に受
講、他市町の支えあいに関する情報や市内各学区の住民同士の支えあい活動・地域
課題等を共有・協議する場として地域支えあい推進会議を開催した。また、随時地
域に出向いてまち協や第2層推進員に助言を行い、地域の支えあい活動推進のサポ
ートを行った。

- ・推進員養成研修の開催（4/14、4/21 2回）
- ・ZOOMを用いたオンライン研修を第2層推進員と受講（年間15回）

- ・地域支えあい推進員連絡会議の開催（月1回）
新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言のため9月のみ中止
- ・まちづくり連絡会議の開催
地域に出向き、まちづくり協議会役員、行政と近況や課題の共有を定期的に行った。（2～3か月毎、各まち協で年間4～5回程度）
- ・第2層地域支えあい推進会議への参加
まちづくり協議会と第2層推進員が中心となって開催する会議に出席する。
- ・生活支援サポーター養成講座（10～11月 全12回）
初の取り組みとして、市内7まち協と共同開催、最終回を社協で開催する。
- ・11/17 第1層地域支えあい推進会議（文書審議）
子ども、障がい、高齢、地域等の各分野で取り組みをされている団体に対して市内における高齢者の見守りについて情報共有するとともに、今後の課題について意見をいただいた。
- ・1/22 我がごと丸ごとの地域づくりのために…「わがまるフォーラム」
【新型コロナウイルス感染拡大のため中止】
講師：淡路市社会福祉協議会 岩城和志 氏
- ・3/22 支えあいのためのまちづくり協議会会長会議の開催
まちづくり協議会間で活動状況や共通する取り組み・課題等について話しあう場として開催した。

5. 居宅介護事業

(1) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防日常生活支援総合事業
利用者 延べ 707名/年 ＜昨年 762名/年＞	利用者 延べ 176名/年 ＜昨年約 166名/年＞
約 58名/月＜昨年 69名/月＞	約 14名/月＜昨年 13名/月＞
訪問回数 延べ 10,507回 ＜昨年 11,931回/年＞	訪問回数 延べ 1,599回 ＜昨年 908回/年＞
約 875回/月 ＜昨年 983回/月＞	約 133回/月 ＜昨年 75回/月＞

(2) 障がい者総合支援事業

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 272 名／年 ＜昨年 274 名／年＞	利用者 延べ 74 名／年 ＜昨年約 59 名／年＞
約 22 人／月 ＜昨年 22 人／月＞	約 6 人／月 ＜昨年 5 人／月＞
訪問回数 延べ 1,916 回 ＜昨年 1,696 回／年＞	外出回数 延べ 269 回 ＜昨年 223 回／年＞
約 159 回／月 ＜昨年 141 回／月＞	約 22 回／月 ＜昨年 18 回／月＞

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

2 対 1	3 対 1
利用者 延べ 21 名／年 ＜昨年延べ 28 名／年＞	利用者 延べ 10 名／年 ＜昨年 3 名／年＞
約 1.7 名／月	約 0.8 名／月
訪問回数 延べ 68 回 ＜昨年延べ 53 回／年＞	訪問回数 24 回 ＜昨年延べ 6 回／年＞
約 5.6 回／月	約 2 回／月

(3) 特定相談支援事業

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ 32 名／年 約 2 人／月 ＜昨年延べ 37 名／年＞

(4) 子育てホームヘルプサービス事業

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 1 名、36 回／年 ＜昨年計 1 名、2 回／年＞

約 1 名／月、3 回／月 ＜昨年計 0.1 名、0.1 回／月＞

《子育て支援ヘルプ事業》

生後 3 歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 1 名、21 回／年 ＜昨年計 4 名、7 回／年＞

約 1 名／月、1.7 回／月 ＜昨年計 0.3 名、0.5 回／月＞

《産後育児家事支援ヘルプ事業》

出産後の退院日から2か月末までの産婦のいる世帯に対し、家事や育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ4名、16回/年 <昨年計 0名、0回/年>
約 1.3名/月、0.3回/月 <昨年計 0名、0回/月>

(5) 特定旅客自動車運送（福祉有償）事業

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法43条及び78条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 233名、462回/年 <昨年計 185名、352回/年>
約 19名/月、38回/月 <昨年計 18名/月、38回/月>

(6) 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス

《いきいきサロンなごみ》

要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場（石部老人福祉センター併設）

開設日 毎週火・水曜日

登録者 12名 <昨年 13名>
年間 98回開催 延べ 563名参加 <昨年延べ 630名>
平均 約 5名/回、約 46名/月 参加
利用者の送迎 563名/年

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染予防の徹底、全職員に対して、起床時の検温、発熱時の連絡体制の確立、サービス提供前後の手洗い、手指消毒などの感染予防対策に努めました。

今年度より、市の委託事業で、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中で、予定していた里帰り出産が困難となり、家族等の支援が得られず、産褥期を過ごすことに不安を抱え日常生活に支障を来す産婦に対してのヘルパーの訪問で新型コロナウイルス感染症の流行下の中でも安心して産後の子育てができるように支援させて頂きました。生後間もない乳児から97歳のご高齢のご利用者様まで、幅広い支援をさせて頂きました。

研修や日々の情報共有を徹底し、ご利用者様一人ひとりの状態にあう最適なサービスの提供を心がけました。

6. 施設管理事業

(1) 社会福祉センター管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成30年度～令和4年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行った

＝貸館状況＝

年間延べ	982件	<昨年	691件>
平均	約81件/月	利用	

(2) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）

市（高齢福祉課）から指定管理（平成30年度～令和4年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務を行ったが、高齢者を対象にした風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

＝貸館状況＝

年間延べ	376件	<昨年	延べ321件>
平均	約31件/月	利用	

＝“和の湯”利用状況（利用料1回 100円）＝

年間延べ	0名	<昨年	延べ0名>
平均	約0名/月	利用	

＝軽運動場管理事業＝

年間延べ	429件	<昨年	延べ392件>
平均	約35件/月	利用	

○ふれあいサロン「みんなのまめ講」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

延べ	0名参加	<昨年延べ0名>
----	------	----------

○老人福祉センターまつりの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

○シニア応援講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

(3) ふれあいの館管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成30年度～令和4年度）を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務を中心とし、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

《施設管理事業》

年間延べ	432件/3,181人	<昨年	延べ424件>
約	36件/265人	月	利用

《たまり場事業》

毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいさろん」を開催
(手芸・囲碁などを通して交流)

《その他》

○備品貸し出し 文房具・ゲームセット・本・遊具など

7. 善意銀行事業

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 693,925 円 < 昨年 1,200,680 円 >

寄付物品 米、マスク、オムツ等

《催し物器具の貸出事業》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

・貸出件数 合計 11 件 < 昨年 11 件 >

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
3年度	4件	6件	1件	0件	0件
<昨年度>	(3件)	(5件)	(3件)	(0件)	(0件)

《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 37 回 (令和4年3月末現在) < 昨年 21 回 >

《福祉自動販売機設置事業》

社会福祉センター、老人福祉センターに自動販売機を設置し、設置手数料を福祉事業への財源確保に努めた。

《フードドライブ事業》

コロナ禍における生活困窮世帯等への食糧支援と食品ロス解消を目的に7月と12月に実施した。社会福祉センター等の社協管理施設、市役所、市内まちづくりセンター、石部高校、甲西高校、岩根やまりゅうにのぼり旗と回収ボックスを設置して食料品の寄付を募り、企業にも食料品の提供をいただいた。コロナ緊急貸付ひとり親世帯、自立支援金受給世帯を中心に合計 291 世帯 (881 名) に配布した。

	7月	12月
・食料品収集	: 6/21~7/2	11/24~12/7
・寄付総重量	: 約 1,052 kg	約 2,451kg
・配付世帯数 (人数)	: 140 世帯 (431 名)	151 世帯 (450 名)
・協力団体	: 市内まちづくりセンター、市民児協、甲西赤十字奉仕団、石部赤十字奉仕団、更生保護女性会、滋賀県ひとり家庭福祉増進員、石部高校、甲西高校、フードバン	

クビわ湖、フードバンク滋賀、水口青年会議所、岩根
やまりゅう

8. その他(おもな事務局事務ならびに出役した委員会)

事務局

- ・ 湖南市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ 滋賀県共同募金会湖南市共同募金委員会事務局
- ・ 日本赤十字社滋賀県支部湖南市地区事務局
- ・ 遺族会、その他福祉団体等の事務補助
- ・ 湖南市介護保険事業者協議会事務局

市関連

- ・ 湖南市総合計画策定委員会
- ・ 湖南市地域福祉計画、地域福祉活動計画策定委員会
- ・ 湖南市民生委員推薦会
- ・ 湖南市地域福祉推進協議会
- ・ 湖南市子育て支援センター運営委員会
- ・ 湖南市要保護児童対策地域協議会
- ・ 湖南市子ども、子育て未来会議
- ・ 湖南市訪問看護ステーション運営委員会
- ・ 湖南市地域包括支援センター運営委員会（部会）
- ・ 湖南市地域支えあい推進会議
- ・ 湖南市介護保険運営委員会
- ・ 湖南市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会（部会）
- ・ 湖南市在宅医療介護連携推進協議会
- ・ 自立支援型地域ケア会議
- ・ 湖南市高齢者虐待防止対策推進協議会
- ・ 湖南市障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員会
- ・ 湖南市障がい者の人権を守るための連携協議会
- ・ 湖南市障がい者施策推進協議会
- ・ 湖南市福祉有償運送運営協議会
- ・ 湖南市人権まちづくり会議
- ・ 湖南市人権擁護審議会
- ・ 湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会
- ・ 隣保館支援方策検討会（三雲、夏見、柑子袋、石部、岩根）
- ・ 湖南市自殺対策計画策定委員会
- ・ 健康づくり湖南推進協議会
- ・ 湖南市交通安全推進協議会

- ・甲賀・湖南ひきこもり支援『奏—かなで—』運営会議（部会）
- ・湖南市青少年育成市民会議
- ・甲賀地域障がい児・者サービス調整会議（全体会議、部会）
- ・甲賀・湖南成年後見センターぱんじー（なんでも相談、講座）
- ・甲賀市・湖南成年後見制度利用促進基本計画策定委員会
- ・市内各まちづくり協議会（支えあい推進会議、委員会、部会）